



池田山フライト協会

フライヤー会員数：約 170 名（2016 年）

- ・ 法人格及び、池田町からの許可等は受けていない、フライヤーによる任意団体
- ・ 実働平均年齢：60 代後半
- ・ 5 名の死亡事故（2016 年まで）
- ・ 山への墜落、靱帯損傷、骨折等の事故発生、年平均 5～10 件

■ 過去の重大事故

2001 年 7 月 5 日

- ・ 男性 事故当時 63 代
- ・ パラグライダーのハーネスからの脱落落下、落下時の高度は約 1 0 0 m。死亡。

2002 年

- ・ 男性 事故当時 50 代
- ・ ハンググライダーが着陸場に墜落。死亡。

2009 年 9 月 17 日

- ・ 男性 事故当時 81 歳
- ・ パラグライダーのハーネスバックル閉め忘れにより落下し死亡。

2010 年 11 月 20 日

- ・ 男性 事故当時 64 歳
- ・ パラグライダーが電線に引っ掛かり本人に怪我はないものの、救助の為に約 1300 世帯（藤代、草深、小寺、山洞、青柳、田畑、本郷）が停電。

2012 年 5 月 19 日

- ・ 男性 事故当時 68 歳
- ・ ハンググライダーのハーネスベルト締め忘れ。離陸場から 200m くらいの地点の木に不時着したが、そこから落下し死亡。

2016 年 10 月 13 日

- ・ 男性 事故当時 68 歳
- ・ 着陸場に進入する際、高度 20m 付近で翼が失速及びスピンをしながら落下し死亡。

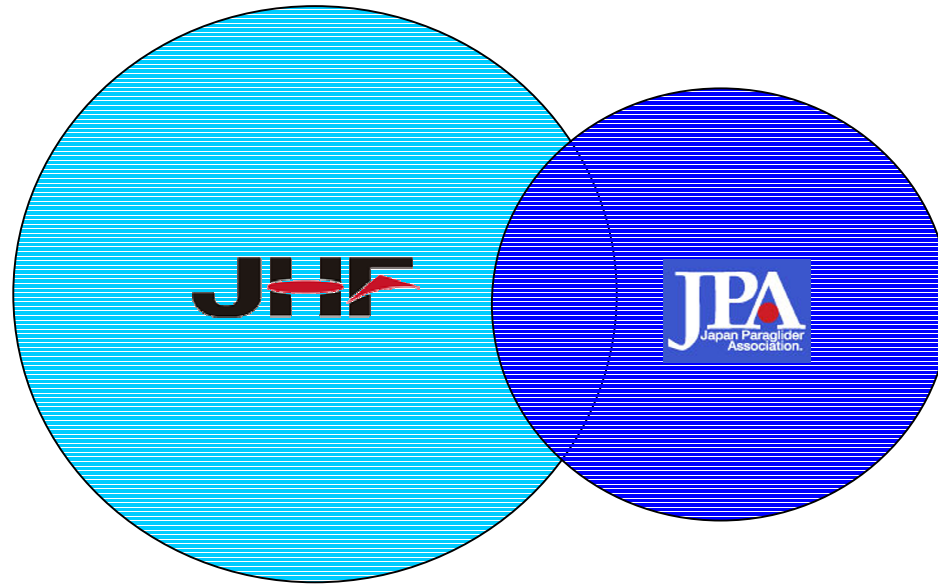
※ その他、家屋、研修センターへの激突等がありますが、記録が残っていません。

■ 2017 年 4 月 15 日からの事故

着陸失敗による骨折 1 件（池田山 SD パラグライダースクール助教員）、離陸失敗による靱帯損傷 1 件、離陸失敗による骨折 1 件、山への墜落 2 件（内 1 件は、救助用具未装備）が発生。

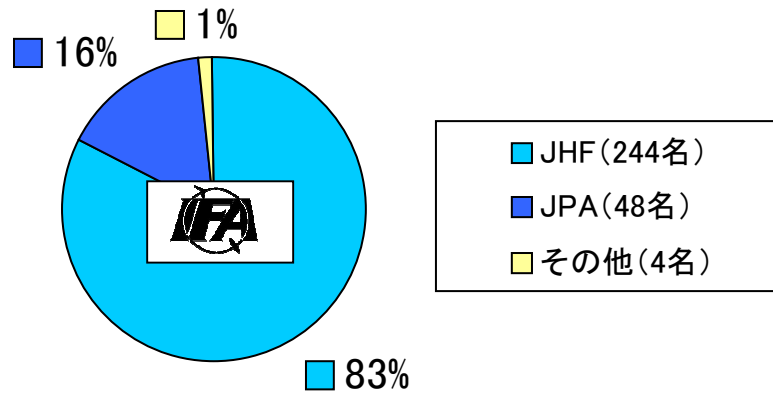
2016 年の死亡事故を受け、池田山フライト協会として池田町へ提出された『安全に関するチェックシート』は有名無実となっています。

池田山フライトエリア フライヤー構成



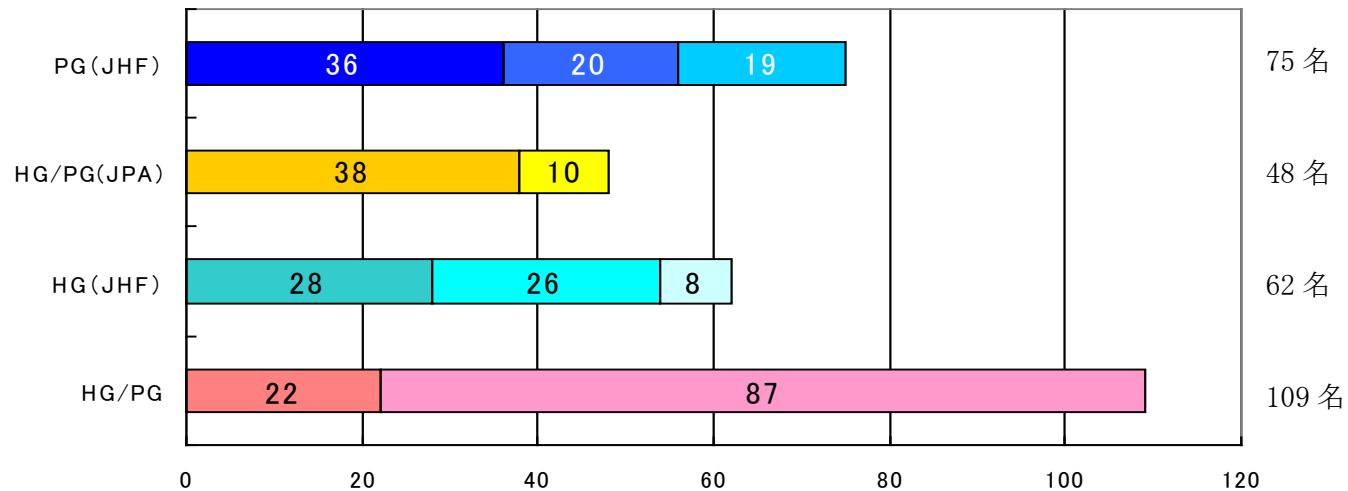
- 池田山フライトエリアは、JHF/JPA 各団体に所属しているのではなく、岐阜県でフライト可能なエリアとして登録がされています。
- 池田山フライトエリアは、JHF/JPA 各団体のパイロットライセンスを取得し、フライヤー登録されている方が飛行可能というのが前提となっています。
- 各団体共に『パイロットライセンス更新制度』は存在しませんので、ライセンス取得時期により安全に対する考え方も技術も統一されていません。

池田山フライト協会 (IFA) 構成 (2016)



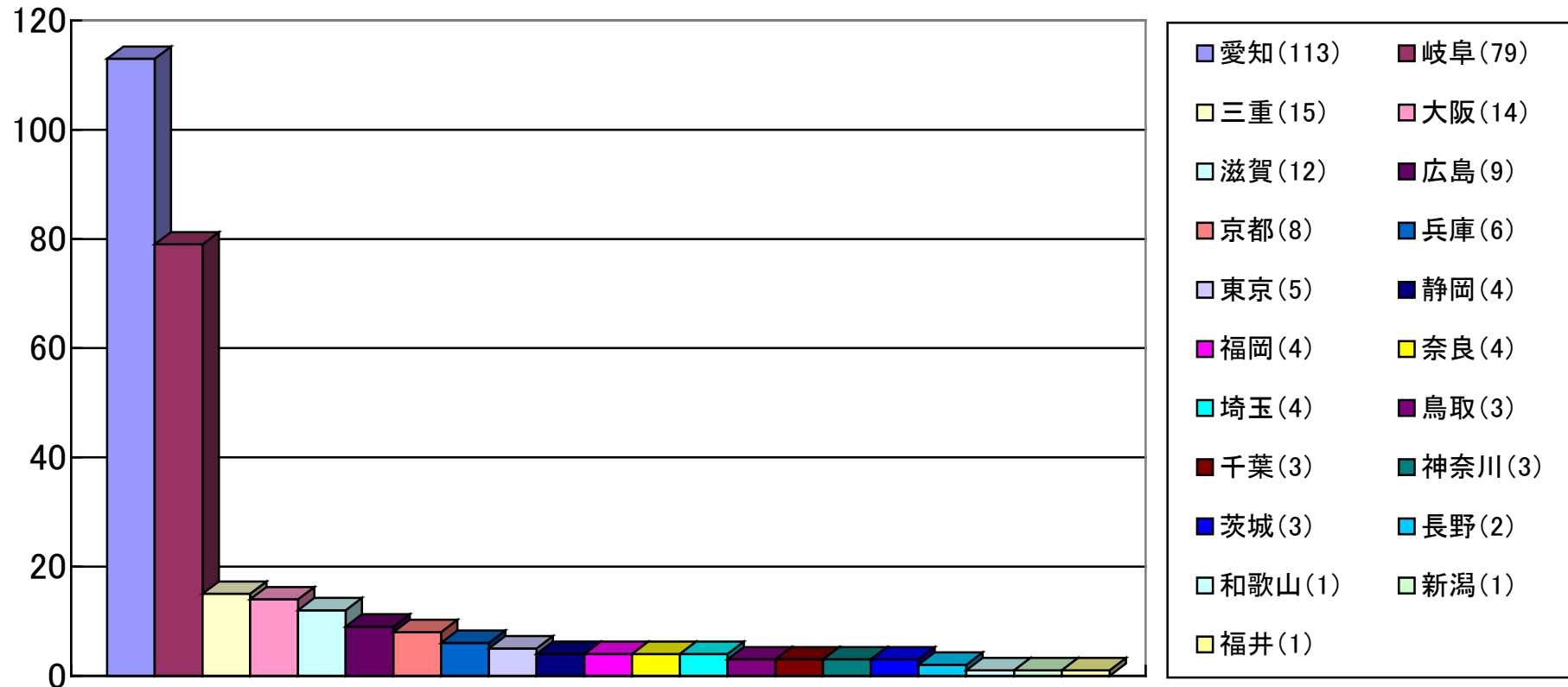
- ・ 実働平均年齢 60 代後半
- ・ 平日フライヤーの平均年齢は、必然的に上がります
- ・ 安全に関する事案も含め、すべて多数決で決定されています
- ・ 過去の重大事故は、全て10年程度のフライト歴を持つ JHFライセンス保有者
- ・ JHF がダメで JPA が良いという事では無く、空を飛ぶ事の責任を正しく理解することが求められています

IFA所属団体 (2016)



■ 池田山スカイダストPGクラブ (ISD) 62.8歳	■ 池田山SDパラグライダーズスクール (IPS) 58.3歳
■ ロコパラグライダーズクラブ (LOKO) 54歳	■ エアロクルーズ (AERO) 48.7歳
■ 池田フライヤーズ (IF) 50.7歳	■ 岐阜ハンググライダーズクラブ (GHC) 46.4歳
■ バーズアイビュー (BEV) 42.7歳	■ 京都ハング (KH) 32.4歳
■ 無所属 47.4歳	■ ビジター 47.4歳

都道府県別 IFA登録数 (2016)



- 池田山フライトエリアは、全国的にも有名なエリアですが、ビジターは他の有名エリアと比べると余り多く有りません。これは、午前中しか飛べないというエリア条件と、池田山周辺に代替エリアが無い事で、遠出してまで飛びに来ないという事が考えられます。また、他のエリアのように管理体制が明確で無い事で、ビジターの受け入れが曖昧になっている状態も躊躇される原因と考えられます。

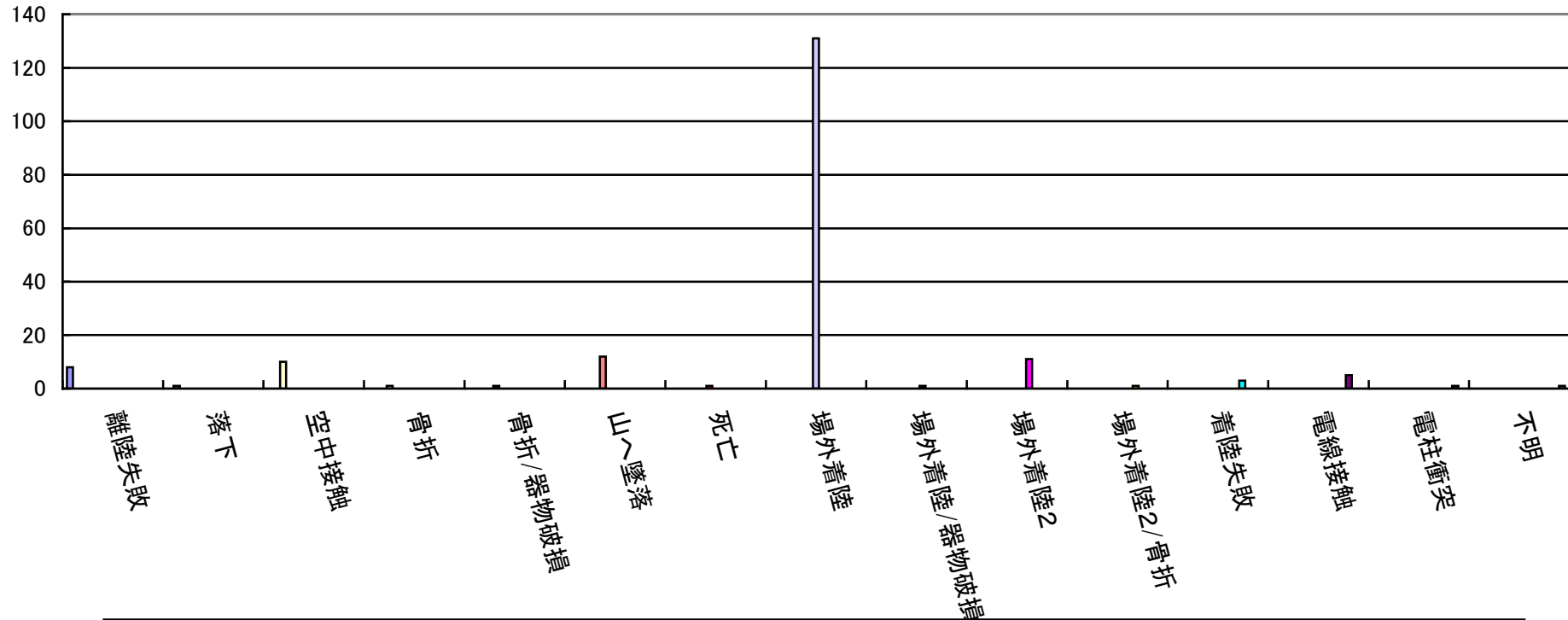
※上記データで各県からフライヤーが来ているのは、池田山で行なわれる大会の為に数日前から練習している方達です。

※池田山フライトエリアで行なわれる大会に関しては、池田山フライト協会が関知しない状態(場所を提供しているのみ)で行なわれています。

■ 参考データ

池田町と近隣市町村のフライヤー数： 池田町 3 名、垂井町 2 名、大垣市 4 名 (2016 年)

■ 事故報告



■ 離陸失敗(8)	■ 落下(1)	■ 空中接触(10)	■ 骨折(1)	■ 骨折/器物破損(1)
■ 山へ墜落(12)	■ 死亡(1)	■ 場外着陸(131)	■ 場外着陸/器物破損(1)	■ 場外着陸2(11)
■ 場外着陸2/骨折(1)	■ 着陸失敗(3)	■ 電線接触(5)	■ 電柱衝突(1)	■ 不明(1)

- ※ これらのデータは2010年3月～2016年10月までに、IFA会員の自主的に提出された事故報告を基に作成されたものです。
- ※ IFAとして事故報告に関して、データの収集、管理等はされていませんので、本来であれば参考資料とも言えません。
- ※ 着陸場から1km以上離れた場所に着陸した件を場外着陸2としてあります。これらは、クロスカントリーフライトというフライト形態で行なわれています。
- ※ 死亡事故を例にして見るだけでもわかりますが、報告されていない事故がこの数倍は存在しているのが現実です。